



北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信

Vol. 125

2019/8/29 発行

第125回 ほほえみ 開催

8月21日（水）第125回 ほほえみを開催しました。
今回は5名の方が参加してくれました。



【がんサロン事務局より】

次回のほほえみは、9/18（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

『勧められなかったがん検診』

（がん体験記）

がんは、“早期発見・早期治療が大切”だと言います。それは、私自身ががんになって実感していたことでした。

でも、がん治療を始めたばかりの頃、なぜか他人には、

「検診に行ってください」と、勧めることはできませんでした。

理由は、その人が私の勧めでがん検診に行ったとき、万が一、がんが見つかったら……。私はそれ以上の責任を負えないからです。

その時の私は、「がん検診に行ってください」という言葉が、あまりにも無責任に思っていたのです。

でもある時、それは間違いであることに気づきました。

がんは、少しでも早くに見つけた方がいい。その時がん検診に行かなければ、がんは確実に進行していくでしょう。

確かにがんが見つかったときの衝撃は大きいです。絶望の淵にも立たされます。家族のこと、仕事のこと、お金のこと・・・と、考えなければならぬこともたくさんあります。

でも、“今”見つかってよかったんです。1年後や2年後では駄目なんです。進行すればするほど、命をも脅かしかねない。治療にお金もかかってくる。仕事に復帰するのも遅れるかもしれない。家族にかかる心配も大きなものになる――。

だから、今なら言えます。「がん検診に行ってください」と。

これからも、その言葉をたくさんの人たちに伝えていきたい。

そして、『検診は1度だけではなく、毎年続けていくことが大切』であることも一緒に・・・。

私自身が“早期”とは言えない段階でがんが見つかった、経験者の心の叫びです。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）